

昭和十八年

第八十四回帝國議會說明資料

朝鮮總督府法務局所管

件名	頁數
一、重要民事及刑事裁判事件並其ノ經過概要	一
二、辯護士、公證人、執達吏等ノ狀況	三一
三、再犯以上ノ者ノ數ニ付内地、臺灣トノ比較及之ニ對スル意見	三七
四、裁判事件累年比較、判檢事一人當負擔(内地、臺灣ト比較)	三九
五、在監人員累年比較看守一人當負擔(内地、臺灣ト比較)	四七
六、登記及公證事件累年比較	四九
七、公證員ノ犯罪(最近五ヶ年比較表、内詳人別)	五一
八、裁判所、檢事局、刑務所、豫防拘禁所、保釋觀察所、刑務官練習所、供託局、登記所ノ職員(身分別)數(定員現員別)最近五ヶ年比較表(年度末トス)	五七

以上

一、重要民事及刑事裁判事件並其經過概要

(一) 民事事件

記載事件ナシ

(二) 刑事事件

- (イ) 電線闇取引事件
- (ロ) 元全州地方法院判事ノ瀆職恐喝事件
- (ハ) 燈臺社事件
- (ニ) 朝鮮耶穌教徒ノ不穩計劃事件
- (ホ) 惠山事件
- (ヘ) 朝鮮建國團事件
- (ト) 朝鮮共產黨再建ヲ目的トスル京城コムグループ組織活動事件
- (チ) 朝鮮共產黨再建運動並武装蜂起計劃事件
- (リ) 東亞基督教會事件
- (ヌ) 朝鮮語學會事件
- (ル) 朝鮮共產黨再建ヲ目的トスル威南共產主義者グループ組織事件
- (ヲ) 元山事件
- (ワ) 支那人謀略團「自起團」事件
- (カ) 支那人謀略團「日東會」事件
- (コ) 安息教事件
- (ク) 聖潔教團事件

(以上)

(1) 電線闇取引事件  
事件概要

昭和十七年四月忠清北道堤川郡堤川邑居住電氣  
工事請負業香山隆雄ナル者カ多量ノ電線類ヲ所  
持シ居ルヲ警察官ニ於テ現認シ之カ入手ニ疑惑ヲ  
抱キ其ノ仕入先等ニ付内査ヲ進メタル結果圖ラヌ  
モ内鮮ニ跨ル大規模ナル電線超過取引事件ノ  
發覺ヲ見タルカ本件ハ内鮮西地ノ電線販賣業  
者、電氣器具販賣業者、電氣工事請負業者  
等多數者間ニ於テ各種電線類ヲ基準價格ノ  
二倍乃至十倍ノ闇相場ニ依リ超過額別口拂、

謝禮金名義ニ依ル超過支拂、他商品販賣偽裝  
品種、サイズ及數量ノ擬裝増加等ノ方法ヲ用ヒ  
超過賣買セラレタル事案ニシテ捜査着手ノ當  
初ニ於テハ違反者約四百名、違反取引量一萬數  
千魁、取引總額約一萬圓、超過授受額約三百  
萬圓ニ上ル見込ナリシ處、捜査ノ遷延ニ依ル民心  
ノ動搖時局下急速施行ヲ要スル軍需諸產業  
用電氣工事ノ竣工遲延等諸般ノ事情ヲ慮  
リ事犯ノ可及的急速處理ヲ圖ル為檢學ニ  
際シテハ重點主義方針ニ依ルコトトシ爾來  
大田地方法院清州支廳檢事ノ指揮ノ下ニ專

ラ忠清北道警察部經濟警察課ヲシテ捜査ヲ  
為サシメ其ノ結果 同年九月四日ヨリ本年八月末  
迄、間ニ石清州支廳檢事分局ニ於テ受理シタル  
事件ハ計一七二件ニ六五八ニ及ヒ其ノ中大田地  
方法院ニ對シ起訴シタルモノハ計一〇二件一  
四〇人ニシテ此ノ違反取引量六千餘冠、取引  
額約九十六萬圓、違反超過額約四十二萬圓  
ニ達シ居レリ。

## 2. 本件事犯發生ノ原因

支那事變發生以來電線類ハ全國的ニ拂底セル  
ニモ拘ラス之ニ對スル配給統制ハ僅ニ新製品  
ニ付テ、ミ行ハレ從來ヨリ貯藏品、在庫品ニ及ハス  
又其ノ統制タルヤ所謂自治統制ニ過キス而モ  
此ノ統制ニ基ク供給ノ調節モ頗ル緩漫ニシテ  
需要者ハ發注後半年乃至一年ニシテ漸ク現品  
ヲ入手シ得ル状態ナリシヲ以テ必然的ニ無統  
制ナル貯藏品、在庫品ニ對スル激烈ナル需求競  
争ヲ招來シ其ノ價格ヲ著シク高騰セシムルニ至  
レリ固ヨリ昭和十五年十一月一日朝鮮總督府  
告示第一一六四號ヲ以テ電線類ノ價格ノ指定  
ヲ見タルモ右指定價格ハ所謂九、一八價格ニ  
比シ遙ニ低廉ナリシノミナラス其ノ指定モ内地

ニ遲ルルコト五ヶ月ニ及ヒシ為依然業者間ノ  
取引ハ九、一ハ價格ヲ基準トシテ行ハレタルト  
共ニ内地業者ヲシテ其ノ販路ヲ朝鮮ニ轉進  
セシナルニ至リ遂ニ鮮内ノミナラス内地間トノ取  
引ニ於テ價格遠反ヲ續出スルニ至リタリ而モ  
他方支那事變以來軍需産業ノ殷盛ニ伴フ電  
線ノ需要ハ激増ヲ累ネ來リタル為鮮内電  
線關係業者ニシテ電線ノ取引ニ依リ巨利ヲ  
博セハトスル者簇出シ從來電線ノ販賣ヲ營  
マカリシ電<sup>氣</sup>器具販賣業者又ハ電氣工事請負  
業者ニシテ電線ノ販賣ヲモ兼ネ或ハ之ニ專念

スル者ヲ出スニ至リ此ノ間ニ於テ業者ハ不法ノ利  
得ヲ圖リ價格ヲ度外視シテ之カ入手ニ狂奔  
シ本件犯罪ヲ醸成スルニ至レリ。

### 3. 事犯處理ノ概況

本件電線ノ闇取引ハ犯罪地内鮮西地ニ跨  
リ居リテ地域的ニ廣汎ニ亘レルノミナラス取引  
電線ノ種類、取引形態、取引價格等極メテ  
複雑多岐ニ亘リ遠反容疑者、如キモ鮮内  
電線關係業者、大半ト内地業者、多數  
ヲ網羅セル狀況ニシテ捜査上、困難甚カラ  
サリシト一度檢擧開始セララルヤ業者等ハ

一大衝動ヲ受ケ漸次自肅自戒スルニ至リタルヲ以テ前記、如ク檢舉ハ之ヲ重點的ニ行ヒ少量取引ニ依ル少額遠反者ニシテ犯情悪質ナラス又ハ改悛ノ情顯著ナル者ニ對シテハ微罪不檢舉、方針ニ依リ單ニ將來ヲ嚴重訓誡スルニ止メ或ハ相當額ノ遠反者ト雖モ軍用工事ノ急速施行ヲ圖ラントスルノ餘遠反行為ニ及ヒタル者、如キ情狀憫諒スヘキ者ニ對シテハ起訴猶豫處分ニ付シタルモノモ勘カラズ起訴シタルモノト雖モ惡質事犯ニアラサル限リ大部分ハ罰金刑ヲ以テ處断シ居ル狀況ニ

四

シテ又内地在住 反者百数十名ニ對シテハ内地關係官廳ニ其<sup>遠</sup>犯罪事實ヲ通報スルニ止メ鮮内ニ於テハ處罰ノ手續ヲ為ササリシナリ、而シテ本年九月迄ニ於ケル處罰ノ狀況ハ

イ、懲役刑ニ處セラレタル者 六名 (内罰金刑併科アリタル者四名ニシテ又最高刑ハ一年、最低刑ハ四月ナリ)

ロ、罰金三萬圓ニ處セラレタル者 一名

ハ、罰金一萬五千圓ニ處セラレタル者 三名

ニ、罰金一萬圓ニ處セラレタル者 一二名

ホ、罰金七千圓以上<sup>一萬圓未満</sup>ニ處セラレタル者 一四名

ヘ、罰金七千圓未満<sup>四十圓以上</sup>ニ處セラレタル者 二五名

ト 罰金 四十圓未満ニ處セラル者 六四名  
千圓以上 十圓未満ニ處セラル者 八名  
チ 罰金 千圓未満ニ處セラル者 八名  
三百圓以上

ノ通ナリ

(ロ) 元全州地方法院判事ノ瀆職恐喝事件

被告人原邊基燁ハ昭和十六年一月二十八日朝鮮總督府司法官試補ヲ命セラレ平壤地方法院及同檢事局ニ於テ實務修習ヲ了ヘ昭和十八年三月十一日朝鮮總督府判事ニ任官同時ニ全州地方法院判事ニ補セラレタル者ナル處任官前平壤地方法院檢事局ニ於テ檢事代理トシテ檢察職務ヲ行フニ際リ豫テ實妹原邊基玉ト其

五

内縁ノ夫タル安田木川トノ間不和ニシテ離婚スルヲ適當ト思料シ居リタルヨリ右檢事代理中其ノ職權ヲ濫用シ經濟違反ノ廉アリトテ安田木川ノ父安田鎮亨ヲ不當ニ拘束シ木川ヲ脅迫シテ離婚ヲ承諾セシムルト共ニ離婚ニ依ル慰藉料名義、下ニ金貳萬圓ヲ喝取シタリト、事實發覺シ昭和十八年九月四日平壤地方法院ニ豫審請求、同年十月十五日付公判、豫審終結決定アリ目下同院ニ於テ審理中ナリ。

(ハ) 燈臺社事件

燈台社ハ米國紐育州ブルックリン市所在燈台社總本部(ウオ  
ツチタローバイブルアンドトラクトンサイター)ノ日本支部ニシテ昭  
和三年九月頃明石順三カ創立シ同教理ニ依ル世界支配  
体制变革、一環トシテ我國体ヲ变革シ所謂地上「神  
の國」ヲ建設スルコトヲ究極ノ目的トシ同教理ニ基ク  
證言宣明行為ニ依リテ我國民、國体觀念ヲ腐蝕  
セシムル共ニ現存秩序ノ混乱動搖ヲ誘發スルコト  
ヲ當面主要ノ任務トスル結社ニシテ右燈台社本部  
發行ノ冊子其他ヲ資料トシテ前記趣旨ヲ表現  
シタル「黃金時代」其他多數、小冊子ヲ刊行シ之  
ヲ内地、朝鮮等ニ頒布シ以テ燈台社、教理ヲ證言

六

宣明シ來リタルモノナル處昭和十四年六月中警視廳ニ  
於ケル明石順三等ノ檢舉ト同時ニ朝鮮ニ於テモ京畿  
道警察部ニ於テ關係者、一齊檢舉ヲ行ヒ取調ノ  
結果昭和十五年六月十二日ヨリ昭和十六年十一月七日  
迄、間六回ニ亘リ文泰順等六十六名ニ對スル治  
安維持法違反、不敬等被疑事件ヲ京城地方法  
院檢事局ニ送致シ同局ニ於テ捜査、結果前  
記燈台社、本質明白トナリ昭和十五年六月二十  
二日ヨリ同十六年七月十四日迄五回ニ亘リ同結社ニ加  
入シテ其ノ目的事項、遂行ニ從事シタル文泰順  
以下三十名ニ對シ京城地方法院、豫審ヲ請求シ



昭和十七年二月六日申浣以下三名ニ對シ同公判ヲ請  
求シ六名ヲ起訴猶豫、他、二十七名ヲ不起訴處  
分ニ付シタルガ右豫審ヲ請求シタル三十名ニ對  
シテハ其ノ後付公判二十六名免訴三名公訴棄  
却(死七)一名、豫審終結決定アリ右公判ニ付  
セラレタル合計二十九名中公判手續停止一名ヲ  
除キ全部ニ對シ同年七月十四日同院ニ於テ有罪  
ノ判決言渡アリ内二十四名ハ右判決確定シ他、四  
名ハ控訴申立ヲ為シ京城覆審法院ニ繫屬中  
ナリシ處其ノ後控訴取下ヲ為シ判決確定シ公  
判手續停止中ノ一名ハ公訴棄却(死七)決定ア  
ル

リ茲ニ本事件ハ完結シタリ。

### (二)朝鮮耶蘇教徒ノ不穩計劃事件

朝鮮耶蘇教長老會ニ於テハ昭和十三年九月第二十  
七回總會ニ於テ多年ノ懸案タリシ神社參拜ヲ  
決議シ更ニ翌昭和十四年九月第二十八回總會ノ  
決議ニ依リ所屬三千、教會ヲ擧ケテ國民精神  
總動員聯盟ニ加盟シ宗教報國ノ實ヲ揚ケ  
又克々時局ノ推移ニ目醒メ外人宣教師ノ羈  
絆ヲ脱シテ真ニ日本の基督教徒ヘ、轉向ノ一途  
ヲ辿リツツアリタル處此、間神社參拜ヲ飽ク迄  
否認セントスル所謂非革新分子ハ外國人宣

教師、使嗾援助、下ニ神社不参拜教會、再建運動ヲ企圖シ居ルヤ、疑ヨリ昭和十五年四月以降之第一部容疑者ヲ檢挙究明シタル結果彼等一昧、企圖ハ單ナル神社不参拜運動ニ止ラス現在、國家社會ハ惡魔、組織セルモノナリトシテ之ヲ否認シ數年後ニハ耶蘇、再臨ニヨル地上天國、新社會ヲ現實ニ召來スルモノト夢想要望シ此、新社會ノ恩澤ヲ享有スルモノハ一ニ神社不参拜教徒、ミナリト、思想ニ基キ神社不参拜教會ノ再建ヲ目的トスル「再建總會組織準備會」ナル秘密結社ヲ組織シ之ヲ母体トシテ全鮮的

ニ「神社不参拜教會」ヲ再建スヘク企圖シタルノミナラス、天皇及皇大神宮ニ對シ奉ル不敬ノ言動、或ハ軍事ニ關スル造言飛語、反戰反國家的氣運、醸成等不逞行為アルコト略判明シタリ、仍テ之等不逞分子ヲ徹底的ニ彈壓芟除シ延イテハ不穩外人宣教師等ノ宗教的謀略宣傳謀略ニ依ル銃後攪乱、不祥事件ヲ防止スルノ要緊切ナルモ、アリ高等法院檢事長指揮、下ニ檢事警察官連絡、上昭和十五年九月二十日咸鏡南北道ヲ除キ全鮮一齊檢挙ヲ断行シタル結果總數百九十三名、容疑者ヲ檢挙シ平安南

道關係ハ昭和十六年五月十五日平壤地方法院檢察局ニ被疑者六十八名ノ事件送致アリ同檢察局ニ於テハ昭和十七年五月十二日三十五名ニ對シ起訴豫審ヲ求メ八名ハ起訴猶豫他、二十五名ハ不起訴處分ニ付シタリ、前記豫審ヲ求メタル三十五名ニ對シテハ目下平壤地方法院豫審掛ニ於テ審理中ナルガ本件檢察ニ洩レタル残存分子並ニ本件ニ於テ起訴猶豫其、他不起訴處分ニ付セラレタル一部、者等ハ更ニ慶尚南道下ニ於テ後繼運動ヲ企圖妄動シ居リタルヲ以テ昭和十七年十一月十九日釜山地方法院檢察局指揮、下ニ被疑者崔聖奉外二十九名ヲ檢察シ同檢察局ニ於テ昭和十八年十一月十八日七名ニ對シ起訴公判ヲ求メ三名ヲ起訴猶豫他、十九名ハ不起訴處分ニ付シタリ、公判ニ付シタル七名ニ對シテハ目下釜山地方法院ニ於テ審理中ナリ。

(ホ) 惠山事件

昭和八年九月中國共產黨、領導下ニ東部滿洲地方ニ於テ「日本帝國、打倒中國、失地回復朝鮮、獨立共產化」ヲ目的トシテ組織サレタル東北人民革命軍ナル反滿抗日武装匪團ハ昭和十一年一月之ヲ改組強化シテ東北抗日聯軍ヲ結成

シ爾來中國共產黨、領導、下ニ益其、遊撃匪行ヲ逞フシ居リタルが就中朝鮮人匪首金日成ヲ師長トスル東北抗日聯軍、一枝團ハ昭和十一年ハ九月頃咸鏡南道對岸ニ移動シ附近一帯ニ暴威ヲ振フ一面配下、優秀ナル共產黨員ヲ朝鮮内ニ潜入セシメ所謂人民戰線、理論ニ基キ各層ニ亘ル鮮人大衆ヲ獲得糾合シ鮮内、赤化工作ニ狂奔シツツアリ、他面在滿朝鮮獨立運動者等ハ昭和十一年五月是亦中國共產黨、援助、下ニ階級、宗教、黨派等一切、羈絆ヲ超越セル朝鮮民族ヲ糾合シ朝鮮、獨立並共產化、目的遂行、為韓人祖國光復會ナル結社ヲ組織シ右兩者相携呼應シテ多數、下部組織並外廓團體ヲ結成シ咸鏡南保田市街、襲撃ヲ始メトシ屢々鮮内ヲ侵襲、匪行ヲ逞フシツツアリタルカ昭和十二年七月支那事變勃發スルヤ好機到レリト為シ活潑ナル活動ヲ展開シ滿鮮特ニ軍事上重要ナル咸鏡南道ニ全カヲ注キ重要工場、輸送、交通、通信、警備機關等ノ破壊ヲ敢行セムトシ着々其ノ準備ニ狂奔中ナリシモノニシテ昭和十二年十月咸鏡南惠山警署ニ於テ之ヲ探知シ數次ニ亘ル一齊檢挙、斷

行ニヨリ總人員四百四十六名ヲ檢舉シ取調ノ結果  
昭和十三年四月十一日ヨリ昭和十五年十一月二十八日ニ至  
ル間五回ニ亘リ被疑者二百八十九名ヲ咸興地方法  
院檢事局ニ送致シタリ同檢事局ニ於テハ昭和十三  
年五月十二日ヨリ同十五年十二月二十八日ニ至ル間百八  
十九名ニ對シ起訴豫審ヲ請求シ三十四名ヲ起訴  
猶豫、六十六名ヲ其ノ他ノ不起訴處分ニ付シ其ノ後  
豫審終結シ之等ニ對スル第一審裁判所ハ死亡者  
二十名ヲ除ク百六十九名ニ對シ孰レモ有罪ノ判決  
アリ内九十三名ハ判決確定シ七十六名ハ控訴申  
立ニヨリ目下京城覆審法院ニ繫屬中ナリ。

因ニ第一審判決結果左ノ通

- 死刑 六名、無期懲役 四名、懲役十年以上
- 三十七名、懲役五年以上三十四名、懲役二年以上
- 八十八名 計 百六十九名

(ハ)朝鮮建國團事件

嘗テ教徒百萬ヲ擁シ全鮮ニ其ノ勢カヲ扶植シ  
居リタル類似宗教普天教ハ大正十三年ヲ最盛期  
トシ其ノ後漸次衰微ニ向ヒツツアリタルカ昭和十  
一年當局、肅正彈壓ニヨリ遂ニ解散シ爾後全  
ク潰滅スルニ至リタルモ元普天教幹部等ハ全鮮  
各地ニ散在スル元教徒等ノ間ヲ潜行シテ朝鮮

獨立ヲ目的トスル新教團結成ニ付同志、糾合ニ  
 暗躍ヲ續ケ居リタル處支那事變、長期化スルニ  
 伴ヒ建國運動ノ好機到レリト為シ活潑ナル活  
 動ヲ展開シ昭和十四年五月豫テ密絡ヲ為シ居  
 リタル各道代表者等ハ元普天教本部ノ所在地  
 タリシ全羅北道井邑郡下ニ集合シ朝鮮獨立ヲ  
 目的トスル無名結社ヲ組織シ全鮮各道ニ夫々  
 役員ヲ配置シテ相互連絡ニ暗号ヲ用フル等  
 周到ナル組織網ヲ張り表面ハ侍天教ナル類似  
 宗教、布教ヲ擬装シツツ同志ノ獲得、資金ノ  
 造成ヲ為ス等目的達成ニ種々狂奔シ居リタ

一ニ

ルモノニシテ昭和十五年十二月咸鏡北道警察部  
 ニ於テ之ヲ探知シ全鮮ニ組織網アルコト判明シ  
 タルヲ以テ同月十五日全鮮ニ亘リ一齊檢舉ヲ断  
 行甬來各道警察部ニ於テ取調中ノ處昭和十  
 六年五月十五日ヨリ同年八月二日迄、間ニ夫々清津  
 新義州、大田、平壤、咸興、釜山、大邱、海州、各  
 檢事局ニ被疑者總數百九十七名ノ事件送  
 致アリ檢事局ニ於テハ八名ニ對シ起訴豫審、  
 二十九名ニ對シ起訴公判ヲ求メ九十一名ヲ起訴  
 猶豫、六十九名ヲ其、他、不起訴處分ニ付シタ  
 リ、豫審ヲ求メタル八名ニ對シテハ七名付公判一名

公訴棄却(死七)、豫審終結決定アリ、公判ヲ求メタル二十九名及付公判七名ハ審理中ノ四名、公訴棄却(死七)ニ名ヲ除ク外夫々判決言渡アリ内六名上告ヲ申立タルモ孰レモ上告棄却トナリ結局全部判決確定シ尚残り四名ハ咸興、大田ノ各地方法院ニ於テ目下夫々審理中ナリ。

(ト)朝鮮共產黨再建ヲ目的トスル京城コムグループ組織活動事件

反帝同盟事件ニ關與シタル經歷ヲ有シ鮮内共產主義者間ニ在リテ指導的立場ニ在ル李觀述ハ昭和九年九月頃ヨリ朝鮮ノ獨立並共產化ヲ目的トシテ共產主義運動戰線ノ統一ヲ劃策シ居リタルカ昭和十二年七月

支那事變勃發以來我國ノ情勢ハ資本主義ノ矛盾ヲ暴露シ且事變ノ長期化ニ伴ヒ國民ノ反戦、反政府的思想全國ニ瀰漫シ而モ國際情勢ハ日ヲ逐フテ緊迫化シ革命的客觀情勢既ニ熟シタルモノト妄断シ此ノ機ニ乘シ一般民衆ヲ革命的ニ指導シ以テ朝鮮ノ獨立及共產化ヲ實行スヘク之カ目的達成ノ為先ツコミンテルンノ支部タルヘキ朝鮮共產黨ヲ再建セシムコトヲ企テ、共產主義前科者タル實妹李順今ト共ニ劃策狂奔中昭和十四年一月頃共產主義者金三龍、大山(女)貴南等ト相識ルニ及ヒ茲ニ右四名ハ協議、上同月朝鮮共產黨再建準備ノ目的ヲ以テ

無名結社ヲ組織シ爾來鮮内職工、農民層ヲ對象トシテ同志、獲得活動資金、造成等ニ積極的活動ヲ展開シ居リタル處、昭和十五年二月頃當時京城ニ潜入シ居リタル朝鮮ニ於ケル共產主義運動、重鎮朴憲永(未逮捕)ト會合協議、結果同人及金泰淵(在蘇聯)ヲ最高指導者トシテ其ノ領導下ニ活動ヲ展開スヘク決シ茲ニ於テ前記結社ヲ改組シテ京城コムグループヲ組織シ其ノ機構、擴充強化ヲ圖リ且其ノ組織モ亦檢擧ノ波及ヲ最少限ニ止ムル為上部ト下部トノ關係ヲ一段毎ニ區切ル所謂梯子式組織体ヲ採

用シ同年十一月迄、間多数、同志獲得ニ成功シ更ニ鮮内各地農民、職工層ニ地下組織ヲ擴大強化スヘク狂奔シ居リタルカ右李觀述外四十七名ハ遂ニ昭和十五年十一月二十六日京城西大門警察署ニ檢擧セラレ其ノ後昭和十六年五月十五日京城地方法院檢事局ニ送致セラレタリ而テ同檢事局ニ於テハ昭和十七年五月十三日及同年九月三十日ノ二回ニ亘リ李觀述外十七名ニ對シテ起訴豫審ヲ求メ十二名ヲ起訴猶豫、他ノ十一名ヲ不起訴處分ニ付シタリ、豫審ヲ求メタル十八名中豫審中ニ二名ヲ除キ他ノ十六名ニ對シテハ



昭和十七年十一月三十日付公判ノ豫審終結決定アリ目下京城地方法院ニ於テ審理中ナリ。

(4) 朝鮮共產黨再建運動並武装蜂起計画事件

金漢聲、金載丙等ハ昭和九年七月コミンテルンノ指令ヲ受ケテ朝鮮ノ獨立並共產化ヲ目的トスル朝鮮共產黨再建ニ狂奔シ居リタル徳山仁義ヲ中心トシテ昭和十年頃ヨリ京城ヲ中心ニ不穩劃策ヲ廻ラシ居リタル處 昭和十四年一月頃前述秘密結社<sup>京城</sup>ハグループ組織セラルルヤ翕然其ノ傘下ニ糾合シテ同結社ノ直接指導者タル李靚述、金三龍等ト提携シ且同結社ノ最高指導者タル朝鮮ニ於ケル共

IC

産主義運動ノ先驅者タル金泰淵(在蘇聯)及朴憲永(未逮捕)ノ指導、下ニ活動シ居リタルカ昭和十五年十一月京城西大門警察署ニ於テ前記京城コングループノ主要幹部李靚述、金三龍等ヲ始メ多数一味、檢擧ヲ敢行スルニ及ヒ一時同結社ハ潰滅ノ状態ニ瀕シタルモ未檢擧同志ニ於テ之カ後継運動ヲ策動シ殊ニ昭和十六年六月頃ニ至リ獨蘇開戦ノ報傳ハルヤ之ヲ契機トスル國際關係ノ急迫、延テ日蘇開戦必至ナリト断シ之カ開戦ノ曉ニハ蘇聯飛行機ノ京城其ノ他鮮内重要各地、空襲或ハ蘇聯飛行機落下傘部隊

鮮内降下等ニ基因スル民心動搖ノ機ニ乘ジ  
 彼等多數同志一齊ニ蜂起シ廣ク一般民衆ヲ  
 煽動々負シテ各種ノ後方攪乱行為ニ出スルト  
 共ニ内地人ニ對スル武装暴動ヲ敢行セシメ一舉  
 ニ所期ノ目的ヲ達成スヘク極メテ巧妙周到ナ  
 ル方法ヲ以テ計畫シ夫々部門ヲ分チテ多數同  
 志ノ獲得及官公署會社等ノ極秘文書ノ入手  
 活動資金ノ調達其ノ他諸般ノ準備ニ狂奔  
 シ積極的活動ヲ展開シ居リタルヲ京城鐘路警  
 察署ニ於テ探知シ爾末關係者ニ付内查ヲ續ケ  
 居リタル處偶々京城府内ニ在住スル保護觀

一六

察對象者ヨリ警察官ニ對シ密告アリ茲ニ始  
 メテ本件概貌判明スルニ至リタルヲ以テ昭和  
 十六年十月二日京城地方法院檢事局ニ於テ  
 被疑者百一名ヲ檢舉シ昭和十七年九月三十日  
 五十六名ニ對シ起訴豫審ヲ求メ十四名ヲ起  
 訴猶豫三十一名ヲ其ノ他ノ不起訴處分ニ  
 付シタリ豫審ヲ求メタル五十六名ハ目下京城  
 地方法院豫審掛ニ於テ審理中ナリ。

(1) 東亞基督教會事件

東亞基督教會ハ明治三十九年頃猶太系加奈  
 陀入宣教師故マルコム・シー・ヘンウイック(朝鮮名

片為益)カ忠清南道、江景ニ於テ曩之個人傳道ニ依リ獲得シタル信者申明均外數名及浸禮派基督教徒約二百名ト共ニ協議創設シタルモノニシテ右片為益カ新舊約聖書ニ獨自、解明ヲ試ミテ構成シタル教理信條ヲ信奉スル者ヲ以テ組織シタル宗教團體ニシテ總本部ヲ咸鏡南道元山府ニ置キ昭和十三年頃ヨ咸鏡南道、江原道、平安北道、忠清南道、全羅北道、慶尚北道ニ亘リ布教シ十二區域地方教會數九十四、教徒數三千名ヲ超エ、尚滿洲國內ニ若干名教會教徒ヲ擁スルニ至リ

現在ニ及ヘルモノナルカ其、教理信條ハ「基督ヲ絶對無ニ、權威者ト崇メ基督ハ受難ノ後復活シテ現ニ天上ニ在レトモ末世ニ至ラハ地上ニ降臨シテ所謂千年王國ヲ建設シ我國ヲモ含ム總有民族、國家、上ニ君臨シ所謂萬王、王ト成リテ先ツ審判ヲ行フヘク其、際異教徒及猶太民族ヲ迫害シタル國家ハ峻烈ナル處罰ヲ免レサルト共ニ信者ハ皇后、位ニ即キ永生ヲ亨受スルコトヲ得ヘシ現下世態ノ混亂紛糾ハ仍チ右地上神國出現、前兆ナレハ信者タルモノ更ニ熱禱ヲ捧ケ教勢ノ擴大ヲ

圖リテ福音ヲ庶幾スヘキ旨強調宣布スルニ在リテ當局ノ指導ニ拘ラス猶前敍妄斷曲解ニ基ク教理信條ヲ草メス昭和十六年頃以降更ニ信徒ニ對シ右教理ヲ說教シ

天壤無窮ノ光輝アル我國體ヲ否定シ延テハ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スヘキ事項ヲ流布シ居リタルヲ咸興憲兵隊ニ於テ探知シタルヲ以テ咸興地方法院檢事局ニ於テ昭和十七年五月三十日同教幹部三十二名ヲ檢學シ昭和十八年五月二十四日九名ニ對シ豫審ヲ求メ二十二名ヲ起訴猶豫、一名ヲ不起訴處分ニ付シタリ、豫審ヲ

求メタル九名ニ對シテハ目下咸興地方法院豫審掛ニ於テ審理中ナリ。

(又)朝鮮語學會事件

獨逸柏林大學及上海同濟大學ヲ卒業シタル義本克魯、京都帝國大學文學部ヲ卒業シタル月城鉉培等カ朝鮮獨立ノ目的ヲ以テ在上海大韓民國臨時政府ト連絡、上同政府要人、指令ニ基キ表面活潑ナル獨立運動ノ展開ハ至難ナルニ依リ朝鮮語文運動ヲ展開シ之ヲ通シ朝鮮民族ノ文化的實力養成ト民族意識ノ昂揚ニ努メ情勢ノ好轉ヲ俟テ之

カ目的ヲ達成スヘク昭和四年十月京城府水標町ニ在ル朝鮮教育會内ニ朝鮮語辞典編纂會ト称スル結社ヲ組織シ爾來表面學術的辞典ノ編纂ヲ仮装シ裏面ニ於テ朝鮮語綴字法、統一標準朝鮮語、制定、外來語表記法統一等、方法ニ依リ朝鮮民衆、日常使用言語ヲ統一シ民族意識、昂揚ト民族的團結ヲ圖リ經濟界、言論界其他各方面ニ亘リ半島社會上層部ニ協カラ求メ有力會員百八名ヲ得其、援助、下ニ着々右方策ニ副ヘル朝鮮語辞典、編纂ニ努メ来リタルカ昭和十一

年三月之ヲ解散シ學術研究ヲ目的トシテ中等學校朝鮮語担任教師ヲ會員トシテ組織シ居リタル朝鮮語研究會ヲ朝鮮獨立運動ノ實踐團體ニ改組シタル朝鮮語學會ニ於テ右辞典、編纂ヲ繼承シ不穩策動ヲ為シ居リタルモノヲ咸鏡南道警察部ニ於テ探知シタルヲ以テ昭和十七年十月十三日咸興地方法院檢事局ニ於テ關係者三十三名ヲ檢學シ昭和十八年九月十八日十六名ニ對シ豫審ヲ求メ十四名ヲ起訴猶豫、三名ヲ其他、不起訴處分ニ付シテ豫審ヲ求メタル十四名ハ目下咸興地方法院

豫審拭ニ於テ審理中ナリ。

(ハ)朝鮮共産黨再建ヲ目的トスル「咸南共産主義者グル」組織事件  
思想犯囚トシテ昭和七年頃ヨリ同十四年頃迄、間刑ノ  
執行ヲ受ケ居タル者等カ依然朝鮮、獨立共産化  
ノ目的ヲ以テ昭和十一年八月頃京城刑務所内ニ於  
テ萬歳騒擾ヲ誘發セシメ或ハ又工場ニ於ケル雜  
犯囚ヲ共産主義陣營ニ獲得スヘク工場指導  
部ノ組織ヲ為シ妄動中大田刑務所ニ移監セ  
ラルルヤ同所ニ於テモ雜犯囚ニ主義思想、  
宣傳扶植ヲ為シ同志トシテ、獲得センコトヲ  
企テ轉向ヲ偽装シテ工場出役ヲ圖リ且豫テ

獲得セル取締看守及掃除夫タル雜犯囚ヲ  
利用シ或ハ監房間、隔壁ヲ指頭ニテ叩キモ  
ールス信號ニヨリテ同志間、連絡協議ヲ遂  
テ理念ノ涵養強化ニ努メ昭和十三年九月  
頃所内鬭争ノ組織化ヲ企テ朝鮮共産黨  
再建大田刑務所共産主義者グループヲ組織シ  
各種實踐鬭争ヲ画策シ傍ラ同志ノ獲  
得、満期出獄者ノ激勵等ヲ為シ來レハ  
昭和十五年三月頃ヨリ京城ヲ中心ニ黨再建  
運動展開サルルヤ出獄者等ハ之ト呼稱シテ  
咸南地方ニ於テモ運動ヲ展開スヘク奔走

昭和十六年九月頃朝鮮共產黨再建ヲ目的トスル「咸南共產主義者グループ」ノ組織ヲ遂ケ活動中ナリシヲ咸鏡南道警察部ニ於テ探知シ咸興地方法院検事局ニ於テ昭和十七年一月十四日以降同年九月二十二日迄ノ間五回ニ亘リ関係者ヲ檢舉取調、結果安田鍾瑞外四十五名ニ對スル治安維持法違反陸海軍刑法違反等、各犯罪事實明白トナリ右安田鍾瑞外二十一名ヲ同法院ニ起訴豫審ヲ求メ六名ヲ起訴猶豫處分ニ所在不明又ハ病臥中ナル十名ヲ起訴中止處分ニ其ノ餘ノ八名ヲ不起訴處分ニ夫々付シタルカ昭和十八年九月十五日司法院豫審部於テ(死亡ニ因ル公訴棄却一名)安田鍾瑞外二十名ヲ同院ノ公判ニ付スヘキ豫審終結決定ヲ為シ目下同公判ニ於テ審理中ナリ。

(3) 元山事件

昭和六年八月咸鏡南道ニ於テ檢舉サレタル所謂第一次太勞事件(ロシアヨリ派遣セラレタル金鐃盤ヲ首犯トスル共產主義事件)ニ連坐シテ懲役五年ニ處セラレタル元山府出身李舟河ハ昭和十二年二月十五日出獄後本籍地ニ歸来シタルカ本名ハ在監

中依然トシテ共產主義ノ思想ヲ抱懷シ出獄歸宅後モ引續キ舊同志ト提携シテ共產主義運動ヲ為スヘク狂奔中ノ處偶々昭和十一年四月頃曾テ前同事件ニヨリ懲役ニ處セラレタル金恭範カ満期出獄シタルヲ以テ同人ヲ獲得シ其ノ後同人ノ紹介ニヨリ元山鐵道機關區勤務石彪源ヲ獲得シ石彪源ノ紹介ニヨリ同人ト同勤ノ方龍弼ヲ獲得シ更ニ順次思想前歴者其他城大學生等ヲ獲得スルニ至リタルヲ以テ茲ニ之等同志ヲ以テ各産業部門ニ赤色勞働組合ヲ組織スヘク決意シ昭和十三年四月中旬頃元山符ニ於テ

朝鮮ノ獨立並其ノ共產化ノ目的ヲ以テ赤勞組織準備機關トシテ赤色勞働組合委員會(後ニ赤色勞働組合元山左翼委員會ト改稱)ヲ結成シ其ノ項下部組織トシテ鐵道及金屬化學ノ各部門ニ赤勞班、鉄友會、城大内ニ讀書會等ノ秘密結社ヲ組織シ爾來其ノ目的遂行ノ為多數ノ不穩文書ヲ出版頒布シテ人民戰線運動ヲ展開シ来リタルカ支那事變勃發後ハ反戰運動思想ノ宣傳ニ努メ武裝蜂起ニ依ル後方攪亂ヲ企圖シ居リタルヲ昭和十四年四月咸鏡南道警察部ニ於テ探知シ



關係者七十五名ヲ檢舉送局アリタルヲ以テ咸興  
 地方法院検事局ニ於テハ昭和十四年八月三日  
 四十八名ニ對シ起訴豫審ヲ求メ三名ヲ起訴猶  
 豫、二十四名ヲ其、他、不起訴處分ニ付シタリ、  
 咸興地方法院豫審掛ニ於テハ同十六年四月  
 十日四十四名ヲ付公判、四名ヲ免訴、豫審終結  
 決定ヲ為シ付公判ノ四十四名中審理分離、上  
 公判繫屬中ノ三名ヲ除キ四十一名ニ對シ昭和十七  
 年十二月一日同院ニ於テ各懲役刑（中三名執行  
 猶豫）、判決言渡アリタルカ其ノ中二名、控訴  
 申立者ヲ除キ他、者、全部右判決確定シ控  
 訴ヲ申立タル二名ニ對シテハ目下京城覆審法院  
 ニ於テ審理中ナリ、

(ウ)支那人謀略團自起團事件

北支共產八路軍、指令ヲ受ケタル同軍隊負鮮内  
 ニ潜入シ在鮮支那人壯年労働者等ヲ糾合シテ自  
 起團ナル謀略團ヲ組織シ昭和十三年七月以降  
 咸北清津ヲ中心ニ同地方ニ於ケル軍情諜知  
 提報、放火謀略及鐵道破壊並平壤、釜山  
 地方ニ於ケル軍狀諜知提報行為ヲ敢行シ居  
 リタリ、軍狀諜知提報事件ハ昭和十三年七月  
 頃ヨリ昭和十六年十一月末迄十五件ニシテ清津

羅津及釜山港ニ於ケル上陸々軍部隊ノ輸送狀況ヲ探知シ或ハ羅南、會寧、平壤等ニ於ケル兵營並飛行場等ヲ撮影シ之ヲ北支共產八路軍ニ通報シ謀略放火事件ハ昭和十三年十二月二十日頃ヨリ昭和十七年二月迄ノ間十五件ニシテ硫酸、火藥、脱脂綿、硫黃、松脂等ヲ以テ調製セル自然發火性ノ放火材料「自來火」ナルモノヲ清津所在大同百貨店洋服陳列台其他ヲ捕込ミ同百貨店ヲ全燒セシメタルヲ始トシ清津、羅津等ニ於テ會社、工場、倉庫、公設市場等ニ放火ス、次ニ鐵道破壞事件ハ昭和十六年七月清津ニ於テ二件敢行シ其ノ一件ハ鐵道線路曲線部ノ捻釘ヲ拔取リ列車顛覆ヲ企テ、他ノ一件ハ貨車々々軸函内ニ砂利ヲ投入シ車軸炎燒ヲ企圖シタルモノナリ、現在迄ニ判明セル關係者ハ總數四十一名ニシテ其ノ中三十三名ヲ逮捕シ内十五名ニ對シ豫審ヲ求メ十八名ニ對シ不起訴處分ニ付シタリ然ルニ豫審ヲ求メタル十五名ハ昭和十八年八月二十九日及同年十月五日公訴棄却一名(死亡)ヲ除ク十四名ニ對シ免訴ノ豫審終結決定アリタルヲ以テ檢事ヨリ抗告申立ヲ為シ其中一名ハ抗告棄却ノ決定確定シ他ハ目下京城覆

審法院ニ於テ審理中ナリ。  
(カ)支那人謀略團日東會事件

20

中國共產八路軍遊撃隊所屬謀略員張世元ナル者ヨリ多額ノ報酬ヲ受クル約束、下ニ仁川府ヲ中心トシテ軍情ノ謀知提報、謀略放火ヲ敢行スヘク同府内居住山東省出身者三十一名ヲ以テ「日東會」ナル謀略團ヲ組織シ昭和十五年二月二十二日頃ヨリ同十八年四月二十四日頃迄ニ導謀略放火十二件、軍狀謀知提報二件ヲ敢行シ居リ、軍狀謀知提報事件ハ昭和十五年五月月中二件ニシテ仁川港ニ於ケル軍御用船出入ニ依ル兵站物資ノ輸送狀況ヲ探知シテ前記張世元ヲ通シテ八路軍ニ提報シ、謀略放火事件ハ昭和十五年二月二十二日頃ヨリ同十八年四月二十四日迄、間十二件ニシテ彼等ノ創製ニ係ル硫黄、硝石、松脂ヲ燒酎ニテ溶解セルモノヲ乾燥シパカチ燒灰ト捏混セルモノヲ鋳力錐ニ充填シタルモノニ金釘ヲ刺シテ撃針ト為シ之ヲ強打シテ自爆セシメ、或ハ撃針ニ代ヘパカチ燒灰ヲ卷込ミタル導火線ヲ使用スル「生火球」ナル放火剤ヲ用ニ仁川税関倉庫、仁川貨物驛ホトム運送店

十五

倉庫等ニ放火損害百六十八萬餘圓焼死者  
ニ名ヲ生セシメタリ。現在迄ニ判明セル関係  
者中十五名ヲ逮捕シ中九名ニ對シテハ外患  
放火軍機保護法違反、國防保安法違反  
罪トシテ昭和十八年十月十八日京城地方法  
院、豫審ヲ求メ目下同院ニ於テ審理中ナリ。

(三) 安息教事件

第七日安息日耶蘇再臨教(通稱安息  
教)ハ西曆一八六〇年米國ペテルクリック市  
ニ於テ創設セラレ米國ニ本部ヲ置クモノナ  
ルカ明治二十九年頃米人宣教師クレイソ  
ン

セルカ末朝シ内地ニ布教傳播セシメ我朝  
鮮ニハ明治三十八年米人宣教師スミス兼鮮  
シ平安南道地方ニ於テ布教ヲ開始シ其  
後内地ト連絡ヲ斷キ鮮内ニ於ケル宣  
教ハ米人ノ主管スルトコロトナリ明治四十  
一年本部ヲ京城府内ニ移シ全鮮各地並  
滿洲ニ迄ニ布教ヲ延長シ教勢擴大ニ努  
メ來リタルモノナルカ其ノ教理ハ「耶蘇ノ地上  
再臨ニ依リ現存國家社會ハ變革セラレ三  
位一體ノ神ニ統治シ給フ神國出現セ  
ラルヘク且ツ日本ノ神宮神社ハ三位一體ノ神

被造物ヲ祭神トセル偶像ニシテ真ノ神ニ  
 アラサル旨宣布スルニ在リテ日米國交ノ不  
 調化ニ伴ヒ昭和十六年二月米人宣教師引  
 揚後ハ引揚米人ノ旨ヲ承ケテ朝鮮人異水  
 變コト平岡信吉ヲ總理トシテ布教領導  
 シ來リ我國体ヲ否定シ又ハ神宮若ハ皇宮  
 尊嚴ヲ冒瀆スヘキ事項ヲ流布シ居リタ  
 ルヲ京城鍾路警察署ニ於テ探知シタル  
 ヲ以テ京城地方法院檢事局ニ於テハ昭和  
 十八年六月二十五日及同年七月二十九日ニ同  
 ニ亘リ同教最高幹部五名ヲ檢擧シ三下  
 銳意搜查中ナルカ搜查ノ進行ニ伴ヒ事  
 件ハ尚擴大見込ナリ。

(夕) 聖潔教團事件

元メソヂスト教派傳道師タリシ日本ホーリ  
 ネス教會監督中田重治カ渡米シ「  
 デ」神學校ニ學ヒ明治三十四年同校同窓  
 生タリシ米人宣教師「カウマン」ト共ニ東洋  
 ニ於ケル傳道ヲ目的トシテ歸國シ東京  
 市神田區神保町ニ東洋宣教會本部ヲ  
 置キ東洋各地ニ傳道ヲ開始シタルカ  
 朝鮮ニ在リテハ明治四十年五月「カウマン」

カ朝鮮人三名ヲ派遣シ傳道ヲ開始シ爾後本部ヲ東京ヨリ京城ニ移シ更ニ上海ニ移轉シタルカ昭和十五年十一月支那事變ノ進展ニ依リ米英人宣教師、本國引揚ニ伴ヒ本邦人ノミニ依ル布教ヲ確立シ爾末漸次日本基督教確立、傾向認めラルルニ至リ昭和十八年五月五日機構ヲ刷新シ名稱ヲ日本基督教朝鮮聖潔教團ト改稱シ朝鮮人牧野明植ヲ統理トシテ京畿、咸北、咸南、黃平、忠湖、嶺南ノ六教區ニ一七八ノ教會ヲ設ケ牧師ヲ傳

道師合計百四名、信徒一萬一千八百ニシテ擁シ居ルモノナルカ其、教理信條ハ基督教、地上再臨ニ依リ現存國家社會ニ對シテ草ニシテ基督教ヲ統治者トシ神ノ選民タル猶太民族ヲ支配階級トセル千年王國ヲ現セラルヘク且ツ三位一體、神以外ニ神ナク日本ノ神宮神社ハ三位一體、神、被造物タルモノヲ祀ルモノニシテ這ハ軍ニ國祖タル天照大神、御歷代天皇其、他國家ニ功勞アル人ヲ記念スル建造物ニ過キサルモノニシテ眞ノ神ニアラサル旨宣布スルモノニシテ

我國体ヲ否定シ且神宮並皇室ノ尊嚴ヲ  
 冒瀆スヘキ事項ヲ僭道流布シ居リタ  
 ルヲ以テ京城地方法院檢事局ニ於テハ昭  
 和十八年六月十七日同月二十五日及同年八  
 月十三日、三回ニ亘リ統理牧野明植外ニ  
 十名、幹部ヲ、大邱地方法院檢事局ニ於  
 テ、同年八月二十日千世瑞鳳外ニ名、牧師  
 ヲ光州地方法院檢事局ニ於テ、同年九月  
 九日政本忠義外一名、牧師ヲ夫々檢擧  
 シ目下捜査中ナルカ捜査、進行ニ伴ヒ  
 全鮮ニ亘リ事件ハ擴大、見込ナリ。